



# 1. 学科課程

## 学科専門教育科目

	履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考	
			1年以上履修可	2年以上履修可	3年以上履修可	4年以上履修可			
			前通後	前通後	前通後	前通後			
入門科目	3510	経済学入門(経)	②				平井 廣一 中村 一浩 原島 正衛 瀧野 文章 萱野 智篤 修震 傑子 浦野 真理子 野本 啓介 勝村 克仁 野原 克敦 楠木 藤正 斉藤 邊稔 渡邊 真樹 竹野内 慎也 柴崎 正衛 原島 正務 勝村 木敦 楠野 原克 渡邊 稔 渡邊 稔 久村 隆裕 久村 隆裕 瀧野 文章 浦野 真理子 竹野内 真樹 河村 一	オムニバス 「経済数学」「基礎経済史」「現代の国際社会」の3科目から2科目4単位を修得すること。	
	3524	新聞活用	②				原島 正衛 勝村 木敦		
	3521	基礎経済学(経A)	④				楠野 原克		
	3522	(経B)	④				渡邊 稔		
	3523	(経C)	④				渡邊 稔		
	3540	経済数学(経A)	2				渡邊 稔	アチーブメントテスト到達者クラス	
	3541	(経B)	2				久村 隆裕		
	3542	(経C)	2				久村 隆裕	アチーブメントテスト未到達者クラス指定	
	3543	基礎経済史	2				瀧野 文章		
	3545	現代の国際社会(A)	2				浦野 真理子		
	3546	(B)	2				竹野内 真樹		
	3547	(C)	2				河村 一		
	基本科目	3201	ミクロ経済学 I(経)		2			修震 傑子	「応用経済コース」「社会経済コース」「グローバル社会コース」のそれぞれから2単位ずつを含め、基本科目から16単位を修得すること。
		3202	ミクロ経済学 II(経)		2			修震 傑子	
3203		マクロ経済学 I(経)		2			渡邊 稔		
3204		マクロ経済学 II(経)		2			渡邊 稔		
3205		経済統計学 I		2			毛利 泰大		
3206		経済統計学 II		2			毛利 泰大		
3211		社会経済学 I		2			勝村 務		
3212		社会経済学 II		2			柴崎 慎也		
3213		社会経済史(A)		2			瀧野 文章		
3214		現代資本主義論		2			柴崎 慎也		
3221		国際関係論 I		2			萱野 智篤		
3222		国際関係論 II		2			萱野 智篤		
入科目	3223	グローバル社会論 I		2			浦野 真理子		
	3224	グローバル社会論 II		2			野本 啓介		
	発展科目		計量経済学		4				
			公共経済学		4				
		環境経済学		4					
		金融経済学		4	4				
		財政論		4	4				
	農業経済学		2						
	一般経済学		4						

経済学部

発展科目「応用経済コース」科目を履修するためには、基本科目「応用経済コース」科目から4単位を修得していなければならない。

	履修コード	授業科目 (クラス)	配当年次・開講期・単位数				担当者	備考
			1年次以上履修可	2年次以上履修可	3年次以上履修可	4年次以上履修可		
			前通後	前通後	前通後	前通後		
コース科目	応用経済コース	産業界組織経済論 医療環境証券論			2			発展科目「社会経済コース」科目を履修するためには、基本科目「社会経済コース」科目から4単位を修得していなければならない。  発展科目「グローバル社会コース」科目を履修するためには、基本科目「グローバル社会コース」科目から4単位を修得していなければならない。
	社会経済コース	経西日社労文日信 済洋本会働化 思経政経 想済策済 史史史論論学 論学論学 論学論学 論学論学 論学論学 論学論学			4			
					4			
					4			
					4			
					2			
					2			
	グローバル社会コース	国際経済学 I 国際経済学 II 国際政治学 国際協力論 I 国際協力論 II グローバルガバナンス論 現代アメリカ論 現代ヨーロッパ論 現代アジア論 現代中国論			2			
					2			
					2			
					2			
					2			
				2				
演習科目	3571 演習 I (A)			②		平井廣一		
	3572 (B)			②		中村島正		
	3573 (C)			②		原濱文智		
	3574 (D)			②		萱野智篤		
	3575 (E)			②		修野震傑		
	3576 (F)			②		浦野真理子		
	3577 (G)			②		野本啓介		
	3578 (H)			②		勝村克仁		
	3579 (I)			②		野原敦		
	3580 (J)			②		楠木正広		
	3581 (K)			②		斉藤邊稔		
	3582 (L)			②		渡野内真樹		
	3583 (M)			②		柴崎慎也		
	3584 (N)			②				
	3585 (O)			②				
	3591 演習 II (A)			②		平井廣一		
	3592 (B)			②		中村島正		
	3593 (C)			②		原濱文智		
	3594 (D)			②		萱野智篤		
	3595 (E)			②		修野震傑		
	3596 (F)			②		浦野真理子		
	3597 (G)			②		野本啓介		
	3598 (H)			②		勝村克仁		
	3599 (I)			②		野原敦		
3600 (J)			②		楠木正広			
3601 (K)			②		斉藤邊稔			
3602 (L)			②		渡野内真樹			
3603 (M)			②		柴崎慎也			
3604 (N)			②					
3605 演習 III			②					
演習 IV				②				
演習 V					②			
演習 VI					②			





## 2. 卒業に必要な単位

### 1. 大学共通科目

39～50ページを参照のこと。

#### (A) 大学共通科目<sup>1</sup>

大学共通科目は、人間科学、人文科学と人間、自然・科学技術・人間、社会と人間、地域と文化、宗教と文化、演習科目、総合講義、キャリア教育関連科目、外国語からなる。

- (1) 人間科学  
この分野から2単位以上を修得すること。
- (2) 人文科学と人間  
この分野から2単位以上を修得すること。
- (3) 自然・科学技術・人間  
この分野の統計学Ⅰ、数学Ⅰ及び数学Ⅱの3科目の中から、2科目4単位を修得すること。
- (4) 社会と人間  
この分野から2単位以上を修得すること。
- (5) 地域と文化  
この分野から2単位以上を修得すること。
- (6) 宗教と文化  
キリスト教文化及び諸宗教文化の各分野から1科目2単位、計2科目4単位以上を修得すること。
- (7) 演習科目  
修得すべき単位数に定めはないので、必要に応じて履修すること。
- (8) 総合講義  
修得すべき単位数に定めはないので、必要に応じて履修すること。
- (9) キャリア教育関連科目  
キャリア教育の分野から、職業と人生Ⅰ1科目2単位を修得すること。日本語科目分野から、日本語表現Ⅰ1科目2単位及び日本語表現Ⅱ1科目2単位を修得すること。情報科目分野から、情報入門1科目2単位、及び情報活用Ⅰ又は情報活用Ⅱのいずれか1科目2単位をあわせて、計2科目4単位を修得すること。なお、これらの科目は1年次に修得することを原則とする。また、情報活用ⅠとⅡの重複履修はできない。  
ハードウェア基礎及びソフトウェア基礎の履修は、情報入門及び情報活用Ⅰ又は情報活用Ⅱの2科目4単位の修得を条件とする。
- (10) 外国語
  - 1 英語Ⅰ・Ⅱの2科目4単位を修得し、加えてドイツ語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱのいずれか2科目4単位を修得し、さらに英語Ⅲ・Ⅳの2科目4単位か、上記で選択した英語以外の外国語科目のⅢ・Ⅳの2科目4単位を修得すること。
  - 2 検定により認定される。詳細は「[外国語科目の単位認定<sup>2</sup>](#)」の頁を参照すること。
  - 3 英語Ⅰ・Ⅱを含む自分が選択した言語12単位修得後、3年次以降に別の言語を履修することもできる。

### 2. 外国語科目の単位認定

201・202ページを参照のこと。

#### (B) 学科専門教育科目

以下の要領で履修し合計68単位以上を修得しなければならない。

- (1) 『入門科目』から必修8単位及び選択必修4単位、計12単位を修得すること。
- (2) 『コース科目』の『基本科目』から16単位を修得すること。その際、各コースから2単位以上を修得すること。
- (3) 『コース科目』の『発展科目』の各コースの科目を履修するには、『基本科目』の当該コースの科目から4単位を修得すること（積上指定）。
- (4) 『コース科目』の『発展科目』から14単位を修得すること。
- (5) 『演習科目』から必修12単位を修得すること。
- (6) 『総合科目』から4単位以上修得すること。
- (7) (2)～(6)で修得していない『入門科目』『コース科目』『総合科目』の中から『認定科目』の中から、10単位を修得すること。

- (8) 『認定科目』については、別途、認定方法について定める。
- (9) 履修登録の条件が指定されている科目が「C 積上指定科目」として次項に示されているので、必ず確認すること。
- (10) 卒業論文の履修は、履修登録時において90単位以上を修得していることを要件とする（必ず4月に履修登録すること）。詳しくは、「卒業論文<sup>1</sup>」の頁を参照すること。

### (C) 積上指定科目

- ・『コース科目』の『発展科目』の各コースの科目を履修するには、『基本科目』の当該コースの科目から4単位を修得すること。
- ・履修登録の条件
  1. 発展科目、および、3年次以上配当の総合科目を履修登録するには、以下の条件をクリアすること。
    - 条件) 2年次後期までに、下記の英語に関する試験を受検し、受検結果を提出すること。  
TOEFL, 学内 TOEFL, TOEIC, 実用英語技能検定試験, ケンブリッジ英語検定, IELTS, 国際連合公用語英語検定試験
  2. 1年次のオリエンテーション期間に実施する数学アチーブメントテストの結果に従い、経済数学を以下のように履修すること。
    - 合格者) 経済数学を履修する場合は(A)クラスを選択すること。
    - 不合格者) 必ず経済数学を修得すること。その際、(D)クラスを受講すること。

### (D) その他

- (1) 『大学共通科目』及び『入門科目』『コース科目』の『基本科目』『発展科目』『演習科目』『総合科目』『認定科目』で修得すべき単位106単位以外に必要となる18単位は、以上の修得すべき単位106単位として修得した授業科目以外の大学共通科目、学科専門教育科目、経済学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目<sup>2</sup>から算入できる。なお、卒業単位計算上、修得した科目の単位数を分割して算入することができる。
- (2) 他学科専門教育科目は54ページに掲載されている科目のみ、履修登録することができる。
- (3) 副専攻科目<sup>3</sup>については、副専攻課程の履修を許可された場合には、修得した科目は全て、卒業単位の総単位に算入できる科目となる。
- (4) 4年次には、4単位以上を履修すること。
- (5) この(A)(B)(D)のことについて、「(E) 卒業単位表」に分かりやすく表で示してあるので参照のこと。

## 3. スクリーニング

特に定めない。

### 1. 卒業論文

181～183ページを参照のこと。

### 2. 経済学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目

51～62ページを参照のこと。

### 3. 副専攻科目

219～227ページを参照のこと。



(E) 卒業単位表 (卒業に必要な最低単位数)

		単 位 数					
		必 修	選 択				
大 学 共 通 科 目	人 間 科 学			2 単位			
	人 文 科 学 と 人 間			2 単位			
	自 然 ・ 科 学 技 術 ・ 人 間	数 学 I, 数 学 II, 統 計 学 I		4 単位			
		上 記 以 外 の 科 目					
	社 会 と 人 間			2 単位			
	地 域 と 文 化			2 単位			
	宗 教 と 文 化	キ リ ス ト 教 文 化		2 単位			
		諸 宗 教 文 化		2 単位			
		演 習					
	演 習 科 目						
	総 合 講 義						
	キ ャ リ ア 教 育 関 連 科 目	キ ャ リ ア 教 育	2 単位				
		日 本 語 科 目	4 単位				
		情 報 科 目	2 単位	2 単位			
外 国 語		4 単位	8 単位				
計		12 単位	26 単位				
学 科 専 門 教 育 科 目	入 門 科 目		8 単位	4 単位			
	コ ー ス 科 目	基 本 科 目	応 用 経 済 コ ー ス	2 単位	10 単位		
			社 会 経 済 コ ー ス	2 単位			
			グ ローバル社会コース	2 単位			
	コ ー ス 科 目	発 展 科 目 ※	応 用 経 済 コ ー ス		14 単位	10 単位	
			社 会 経 済 コ ー ス				
			グ ローバル社会コース				
	演 習 科 目		12 単位				
	総 合 科 目			4 単位			
	認 定 科 目						
計		20 単位	14 単位	24 単位	10 単位		
経 済 学 部 他 学 科 専 門 教 育 科 目							
他 学 部 他 学 科 専 門 教 育 科 目							
国 際 交 流 関 係 科 目							
副 専 攻 科 目							
計		32 単位	40 単位	24 単位	10 単位	18 単位	
合 計			124 単位			124 単位	

(注) 18単位  
大学共通計  
38単位

専門教育計  
68単位

(注) この18単位に、「他学部他学科専門教育科目」「国際交流関係科目」から算入できるのは8単位までである。  
※ (積上指定科目)「コース科目」においては、各コースの3年次に配当されている「発展科目」を履修するためには、当該コースの2年次配当の「基本科目」4単位を修得していなければならない。